

# 中期計画

(2019～2024)

## 関西学院幼稚園

責任者名:幼稚園長

各学校での承認

年月日

2022年 月 日

年 月 日

年 月 日

会議体名

【3年間の運営方針】	【3年後のありたい状態】
<p><b>1. 教育の方針、人材育成</b> (箇条書きもしくは文章で)</p> <p><b>・教育方針</b> 一人ひとりの子どもが、神さまと人に愛され、安心と信頼関係の中で喜びをもって生き、主体的に社会的に遊び、生活から、愛されている自分を感じ、生涯にわたる生き方の基礎を培い、私が私になっていくことを支える保育を実践し、キリスト教主義に基づく全人教育を行う</p> <p>幼稚園では“Mastery for Service”を体現する世界市民に育つよう、心の教育を大切する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一人ひとりを大切に</li><li>・友だちと共に</li><li>・やってみたい、知りたい</li><li>・神さまの恵みを知り感謝する</li><li>・自分で考えて、行動する</li><li>・外遊びの充実</li><li>・喜びをもって、主体的に、共に</li></ul> <p><b>・人材育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保育の振り返り(全体・学年・個人)</li><li>・チーム保育のなかで他の教諭から学ぶ</li><li>・研究課題、自己課題を見つけて取り組む</li><li>・園内研修の充実</li><li>・研修会への参加</li></ul>	<p><b>&lt;2024年度のありたい状態&gt;</b></p> <p><b>・教育方針</b> ・教育方針からぶれることのない、質の高いキリスト教主義に基づく教育・保育の実践</p> <p><b>・人材育成</b> ・質の高いキリスト教主義に基づく教育・保育実践のできる保育者の確保 ・研究的実践者の育成 ・学会で研究発表</p>
<p><b>2. 志願者獲得の方針</b>(箇条書きもしくは文章で)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保育方針・内容の理解 保護者、社会のニーズを把握しながらも本園のキリスト教主義に基づく保育を理解していただくようにする</li><li>・園の様子を発信</li><li>・募集エリアの拡大 幼稚園近隣だけでなく、夙川、芦屋、宝塚方面等、車で片道30分程度の地域まで募集エリアを拡大</li><li>・未就園児を対象とした子育て支援活動の充実</li></ul>	<p><b>&lt;2024年度のありたい状態&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3歳児 2クラス 60名</li><li>・4歳児 3クラス 80名</li><li>・5歳児 3クラス 80名</li><li>・計220名の園児数を確保する</li></ul>
<p><b>3. 中期的な課題</b>(箇条書きで)</p> <p><b>&lt;フェーズ2(2022～2024)&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 志願者の獲得</li><li>2. 保護者との連携</li><li>3. 保育者の確保</li><li>4. 保育者の育成</li><li>5. 保育環境の整備、充実</li><li>6. 保育終了後の預かり保育を利用する保護者の増加</li><li>7. 初等部との連携(学院一貫教育検討後、協議)</li></ol>	

8. 一人ひとり(個)と共に(集団)両方を意識した保育展開  
 9. 併設学校教員との連携

<b>【重点施策】</b> (中期的な課題を解決するための重点施策を箇条書きしてください。「中期総合経営計画」の実施計画がある場合は、第1順位にしてください。優先順位の高いものから5つ程度)	<b>【中期総合経営計画 実施計画】として取り組むものに</b> ○
① 総合学園の「見える化」と関西学院アイデンティティの浸透	○
② 志願者数の獲得	
③ 質の高いキリスト教主義に基づく教育・保育の実践、キリスト教主義に基づく教育・保育質向上のための研究	
④ 保育環境の整備、充実	
⑤ 保護者との連携	
⑥ 初等部との連携(学院一貫教育検討後、協議)	
⑦ 保育終了後の預かり保育を利用する保護者の増加	

**【3年間の取り組み状況(中期計画)を測る指標】**

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| ① スクールモットーの認知度・共感性 | ② 3歳児の志願者数     |
| ③-1 キリスト教主義教育の実践度  | ③-2 キリスト教保育質向上 |
| ④ 保育環境の整備充実        | ⑤ 保護者との連携(満足度) |

**【目標や実績を踏まえた次年度に向けた展望】(2022年3月時点)**

<1. フェーズⅠの中期計画の取り組みにより明らかになった課題>

1. 志願者の獲得
2. 保護者との連携
3. 保育者の育成
4. 保育環境の整備、充実
5. 保育終了後の預かり保育を利用する保護者の増加
6. 初等部との連携(学院一貫教育検討後、協議)
7. 併設学校教員との連携

<2. 学校評価の取り組みにより明らかになった課題>

1. 一人ひとり(個)と共に(集団)両方を意識した保育展開
2. 保護者との連携
3. 保育環境の整備、充実

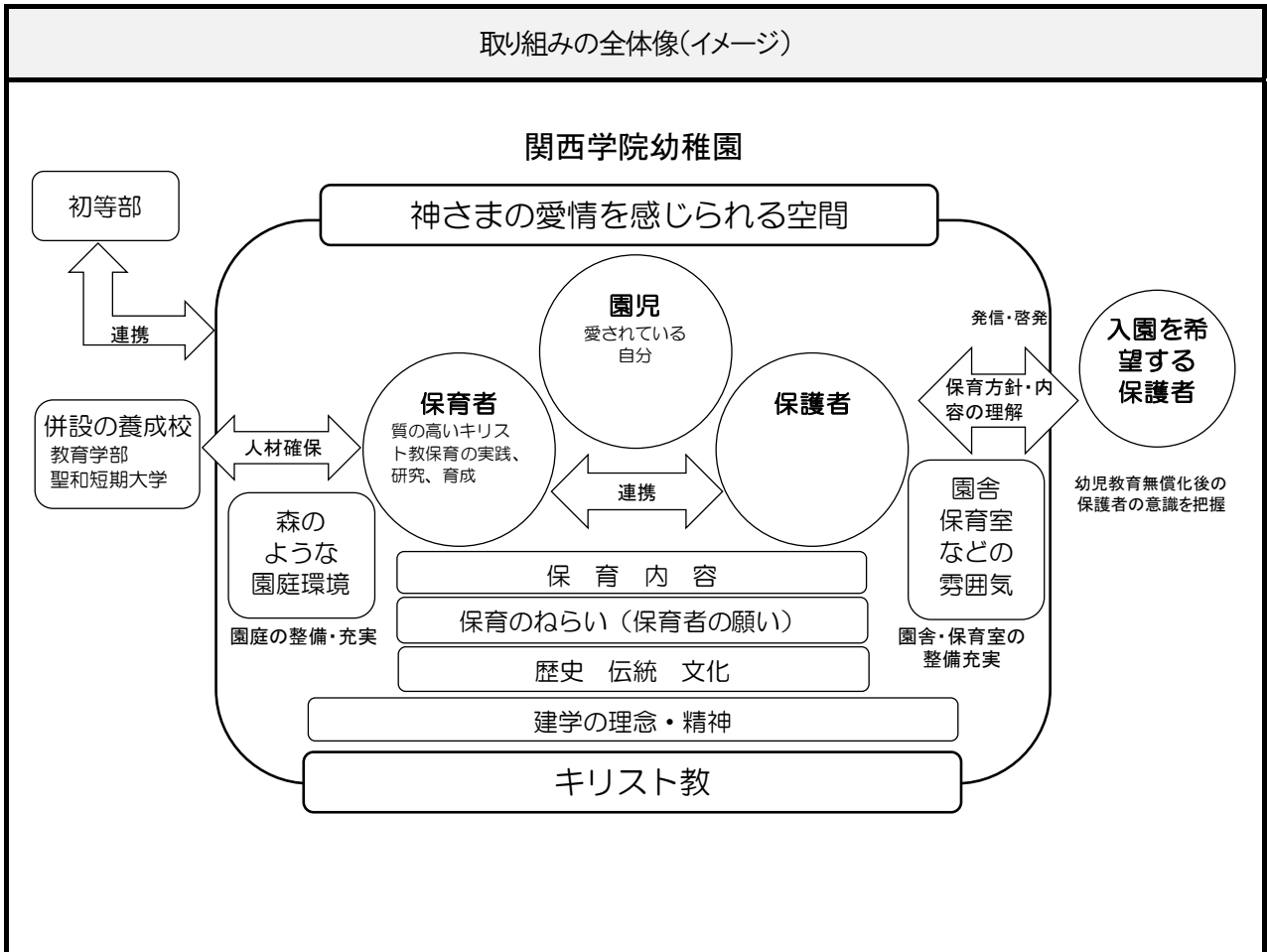
<3. 上記1, 2を踏まえたフェーズⅡ(2022-2024)に向けた展望>

本園の通園エリア未就園児の人数が減少している(高木、西宮北口エリアを除き)。志願者を獲得するためには、幼稚園に入園する年齢の子どもの保護者に、本園の雰囲気を実際に感じてもらうこと、本園のキリスト教主義教育・保育で大切にしていることを理解していただくことが必要である。2022年度は未就園児を対象とした、子育て支援活動の充実を図る。

新型コロナウイルス感染症の影響で、対面で保護者と話をする機会、時間が急激に減少している。そのため保護者とのコミュニケーション、連携が難しくなっている。保護者対応は、専用アプリ等を使用し、園での子どもたちの様子を伝え、本園が大切にしていることの理解、子どもの育ちの理解、子どもの育ちを保護者と共に考えていけるようにする。

本園の大切にしている「一人ひとりを大切に」「友だちと共に」のキーワードを改めて意識して保育を行う。特に、友だちと遊ぶなかで、自分と友だちとの違いを知り、認め合い、力を合わせることの楽しさ、喜びを味わうまでの『プロセス』を大切に保育を行う。

併設学校、特に教育学部、聖和短期大学の教員と連携し、本園の教育、保育の質の向上を図る。



以上